

# 無料PCRセンター出ない「発生園」

## 陽性、放置

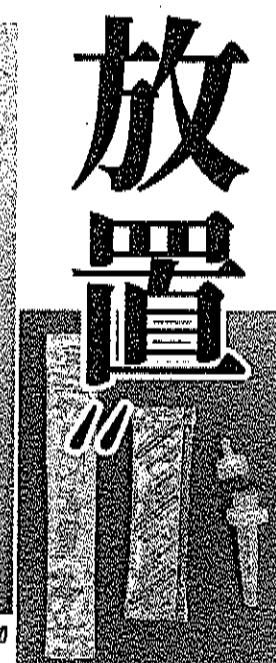
新型コロナウイルスに感染する不安を感じる住民など、無料PCRや抗原検査を実施する自治体が増えていました。感染拡大の中、無料検査で陽性と判定されたものの、医療機関の通路（ひきやし）で診察してもらえる病院やクリニックが見つからない事態が相次いでいます。（遠藤寿△）

神奈川県内の病院で感染症対応に追われている看護師のAさん。「行政が無料PCRセンターを設置し、県内でも検査キットも出回っています。しかし、政府や厚生労働省は陽性者の対応をどうやって金で考えていない」と憤ります。

### 現場は限界

Aさんは「通常の救急外来をしながら同時に、系列病院と連携して、一日で30人を受け入れるのが限度。なんとか翻つ振りでい出す」と病院側

## 病院行けず行政支援なく



❶検査時に使用している安全キャビネット（危険な微生物が飛び散らないための作業場） ❷検査キット（提供写真）

心配がこじらむのです。「発生園」は、無料検査をしたくなるPCRセンターや薬局では玉手でじかで手がわん。医療機関への受診で陽性が確認された場合は、「発生園」が最寄りの保健所に提出されます。保健所は、感染者へ電話で連絡。症状や濃厚接触者などの聞き取り調査が始まります。

### 国は対応を

Aさんは、無料PCR検査の判定が陽性でも医療機関に診てもらわず、「発生園」を出してもらえない、「発生園」難民（なんみん）が生まれていると擁護します。陽性で仕事にも行けない、療養施設にも入れない…。医療機関にかかれないと陽性者がずっと行政から支援を受けられず、取り残されたままの事態になってしまいます。

Aさんは正式な「発生園」ではないとも、「陽性」と判明した患者リストを保健所に提出できるようなシステムをつくり、保健所もリストの対応職員を増やすなどの対策が緊急に求められています。します。「病院の対応にも限界があります。政府・厚生省は対応をしつかり考えてほしい」といふことを。



の苦しげな現状を語ります。まつてあります。うしても、症状がある人を優先せずに得ませんし、それまでの間もされません。検査の結果が陽性だったときは「改めて医療機関を受診していくか」としてしまいます。

神奈川県の場合、無料検査で陽性になったとしても無症状の人まで診るのは申し訳ないけれど無理です。日々、余裕がない困っている状態。誰が書く「新型コロナウイルス感染者対策のベッドの床整理・ス感染症発生園」を出しても